

令和5年度も、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は沢山の生徒の皆さんに校長室に来ていただきお話を伺うことができました。今年度も、感想や談話等の内容を掲載させていただく予定ですので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one. No.127

R6. 2. 4 「バスケット男子が全道3位！」



新チームになってからも快進撃を続けている男子バスケットボール部が、今度は新人戦でも3位に入賞する好成績を収めました。

全員が自己の役割を果たしつつ、アタック、ディフェンス両面においてサポートし合う総合力で勝ち取った成果でした。

全道の頂点が見えたことは、チームにさらなる自信と勢いを付けてくれます。次の試合が益々楽しみになってきました。

この大会で、2年生の松井葵君が優秀選手に選ばれました。おめでとうございます！



One for all, All for one. No.128

R6. 2.10 「合唱部演奏会」

合唱部が3回目となる演奏会を旭川市公会堂で行いました。160名以上にもものぼる来場者からは、3年生にとって最後となる演奏に惜しめない拍手が寄せられました。

多くの皆様のご支援により、昨今では、高文連、NHKコンクール、全国学校音楽コンクール、北海道合唱コンクール等でも全道常連校となるまでに至りました。



演奏会では、皆様ひとりひとりの心に感謝の気持ちを届けられるよう、一曲一曲真心を込めて歌わせていただきました。

その甲斐もあり、演奏後のアンケートでは来場者の皆様から心温まる激励の言葉を沢山頂戴しました。

運営にあたり関係各位には多大なるご尽力を賜りました。この場をお借りし厚くお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

One for all, All for one. No.129

R6. 2.15 「入学者選抜」

令和6年度入学者選抜を実施しました。市内からはもちろん、管内からも沢山の中学生が本校を志望校に選んでくれました。

試験は3教科型と5教科型に分かれ、3教科型には面接試験もあります。混乱もなく予定どおり日程を終えることができました。中学生の皆さん、大変お疲れさまでした。



One for all, All for one. No.130

R6. 2.18 「アンサンブルコンクール」

合唱部が、札幌で開催された「第31回ボーカルアンサンブルコンクール」に参加してきました。直前に3年生を交えての定期演奏会があっただけに、並行しての練習に苦労も多かったようです。

今回は1年生と2年生(1年生男子のみ上級生チーム)に分かれてのチーム編成を試み、選曲から練習内容、演奏に至るまで互いの意見を尊重し合いながら上手に練り合わせての発表となりました。



2年生部長の堀米 柚葉さんは「音合わせは定期演奏会の練習後に短時間で集中して行いました。選曲の『星の話』は落ち着いた優しきのある優しい旋律で、歌い切ったあとの達成感は格別でした」と、数少ないアンサンブルコンサートに出場できた喜びが窺えました。

1年生チームリーダーの吉川 百々歌さんは「練習時も不安ばかりで、発表前も緊張を和らげるために皆で沢山話をしました。

自分で経験してこそ様々な感情を知ることができ、その意味でとても勉強になりました」と、聞いていて大きな成長を感じます。

部員一人一人の成長もさることながら、チームとしての絆が強いことをお二人の言葉を聞いていて改めて実感しました。

One for all, All for one. No.131

R6. 2.18 「吹奏楽ソロコンクール」

吹奏楽部の2年生 野原 桜生君がまたまた快挙です。武蔵野音楽大学で開催された「第4回全日本学生国際ソロコンクール『管打楽器部門』」で、見事「最優秀賞」に輝きまし

た。今回はスネアドラムだけを駆使した演奏曲での挑戦です。

「選曲は高い技術が要求される難しいものでしたが、動画で演奏方法を研究したり、自分なりの解釈を加えアレンジするなど試行錯誤を繰り返しました」と、努力の積み重ねの末に勝ち取った価値ある賞であることがよくわかります。

「将来は音楽大学で勉強し、自分の曲を作りたいです」と抱負を語ってくれました。

無限な可能性が次々に花開いていく様子が実に眩しく映ります。



One for all, All for one. No.132

R6. 2.27 「しこ名は『旭大龍』」



柔道部の支柱として昨年のインターハイでも活躍した3年生 西田 拓未君が、卒業後に角界に進むこと決意し、本校での記者会見に臨みました。

大島親方（元旭天鵬関）も同席のため、お忙しい時間を割き来校くださり、そのお人柄もあってとても和やかな雰囲気での記者会見となりました。

西田君は「入門と同時に『旭大龍』という素晴らしいしこ名を親方からいただきました。このしこ名に恥

じないよう早く強い力士となり、これまで応援して下さった多くの方々に恩返しができればと思っています」と、記者の質問に力強く応えていました。

目標は「1年で三段目」ということです。3月10日から「大阪場所」が開催されます。怪我なく大いに活躍してくれることを心から願っています。

北海道の皆さん、応援よろしくお願いたします！



One for all, All for one. No.133

R6. 2.29 「同窓会入会式」

卒業式に先立ち第64期生の同窓会入会式が行われました。会長の竹部 修司様からはお祝いのお言葉と同窓会の概要についてお話をいただきました。



既に2万名以上の同窓生が道内外で活躍され、現役生を様々な場面で支援してくれています。今度は今春の卒業生が同窓生の一員となり、後輩たちを明るい未来へと導いてくれる番です。

入会式後、各クラスの代表幹事が集まり、互いの絆をさらに強固なものにすることを誓い合いました。

R6. 2.29 「3年生を送る会」

生徒会総務役員の皆さんの考案によって、初の試みとなる「3年生を送る会」を開催しました。今年度の卒業式には在校生が出席しないことから、先輩へのお祝いと感謝の思いを映像で伝えました。

スクリーンには、在校生全員のクラスメッセージ、教職員からのメッセージ、部活動後輩からのメッセージと心温まる言葉が続きます。

最後は龍谷高校にちなんだクイズで盛り上がりました。一つ一つの映像やコメントに、卒業生はこの3年間の思い出を脳裏に巡らしたことでしょう。

総務役員と在校生の思いが、卒業生の心に深く染みわたる素晴らしい生徒会企画となりました。

